

新しい役割分担の元、また、新しい年度を踏みだすことができたことを皆さんとともに喜びたい。スピードの速いICT技術革新に取り残されないように高齢者がついて行くのは容易ではないが、みなさんの善意の輪で力を合わせここまでやってきた。

覚えては忘れ、せっかく覚えたものはもう古いと言われる、悪戦苦闘のあくなき戦いを今後も続けなければならぬ。

情報化社会に生きる高齢者の未来のあるべき姿は何か。皆さんとともに描き出していかねばならぬ。かつて経験したことのない超高齢社会を乗り切る羅針盤は見えてこないが、仲間と繋がり、挑み続け得る中で、展望は開けるものだと思う。



未来を見つめてあたらしい一歩

会長 長尾 康一

# ICTサロンだより

第56号 発行  
シニアネットはまだ  
代表：長尾康一  
Tel：090-4570-5953  
平成30年2月

スマートフォンのこの前までは財布、ケータイ、時計、手帳とペン、カメラ、時には地図、音楽・ニュースが聞きたければラジオなど、夜であるなら、懐中電灯などを確かめて持参した。今はスマホがひとつあればことが済む時代になった。

日本では遅れていてまだ財布から現金を出して支払うことが多いが、中国、韓国、アメリカなどはキャッシュレス時代がかなり進んでいるようだ。

スマホは「人とつながるための道具」です、という専門家もいる。孤独な高齢者にならないために、スマホを使いこなして人と社会につながり共感して、心豊かな人生を送っていききたい。

一方、すでに購入して設定も最低限度のものがあるが、使いこなしていない。スキルアップ研修にしてほしい人もおられる。



スマホの勉強会を始めようと思いい、三回の研修日を設け、参加者を募ったところ、六十人以上の受講希望者が集まった。想定外に多い参加者を前にうれしい悲鳴を上げている。どのように対応すれば、皆さんのニーズに答えることができるか、基本ソフトAndroidかiosか自分に合ったスマホを、自分に合った契約内容にするといくらになるか、そこから始める人が多いかもしれない。さらに、プラスと言って画面が大きく見やすいものもある。年寄り向けの簡単操作のものもあるが、応用が利かない。つまり、使い方以前の課題に取り組まなければならぬ人がかなりおられると思う。



顧問 金野先生の

総会ご挨拶より

盛大な総会の開催をお祝い申し上げます。この頃はスマホ・タブレットが急速に使われているが、学生と接していて感じることはメールが書けなくなっている。パソコンを使わずスマホで情報を処理しているのがキーボードを使えない、宛先が打てないといった現象が起きている。ICTが成熟し過ぎてか基本的なものが使えないのはこれから困ることになる。

皆さんにはパソコンで文章、メールを書くことも並行してやっていただきたい。楽しみながら、役に立つ何かをやっていたらいい。出来る限りのお手伝いをさせていただきます。



総会



物語「花さき山」の表紙

「島根あいてい達者」知事表彰  
吉高 康夫さん

十六年間にわたり高齢者を対象にしたパソコン教室で講師を務めてこられました。講習で使用するテキスト作成や講習を行う団体内でリーダー的な役割



県庁にて表彰式

編集後記  
今年もサロンだよりの発行を担当させていただきました。ご支援とご協力をお願いします。シニアネットはまだ発展のために。  
(総務部・E)



新入会員のお知らせ  
(二月〜二月)

砂子 満  
岩田 輝美  
(敬称略)

勉強会は未来の画像、発声練習と盛りたくさんの課題に向き合っています。これからも応援よろしくお願ひします。



電子紙芝居部の皆さん

功労賞 表彰  
佐々木 清子さん

当会の立ち上げ当初から数々の困難を乗り越えここまで成長させたご功労に感謝し表彰されました。



総会にて表彰式

を担われています。ITを活用する高齢者人口の拡大に貢献されています。



作品展示

研修旅行のお知らせ  
4月15日(日)・16日(月)  
徳島方面の旅  
(大鳴門橋から渦の見学・うだつの町並み・阿波踊り・大塚国際美術館)  
ふるってご参加ください(活動部)

当教室でも「習ったことは自分のパソコンでやってみる。そしてわからないことは質問する」ですね。パソコンは、私たちの生活を豊かにしてくれるツールです。また、パソコンの勉強を進めていくと「パソコンってこんなこともできるの!」と、ワードやエクセルの新しい機能はもちろん、情報検索やSNSなどの素晴らしい機能の発見につながっていきます。

このようにパソコンはやればやるほど奥が深く、私たち高齢者の頭の体操にはこれに勝るものはありません。

パソコンを使いこなし、これらパソコンの利点を日常生活や健康管理に十分に活かしていきたいものです。

講座部は、開発部さんとも連携しながら、会員全員が楽しく学び、パソコンを使いこなせるよう、全力でお世話をしていきたいと思っています。

一緒にパソコンを楽しみましょう。



活動部の方針は「会員相互のつながりと親睦を深め健康で楽しい生活を送ることが出来ることを目指して取り組む」となっています。今年度もこれを目標に行きたいと思っています。まず最初に研修旅行ですが、四月十五日(日)十六日(月)四国の徳島方面への旅行を計画しています。大鳴門橋(カ



活動部を担当することになりました。よろしくお願いたします。

**活動部の取り組みについて**  
活動部長 久保田 嘉男



講座部の皆さん

ラス張り)からの渦の見学、うだつの町並み、昼食時はアサヒビールの試飲、夕食時は宴会場において阿波踊りの実演(飛び入り参加自由)等いろいろと計画しています。詳しくはチラシを配布します。

是非多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。

また、グラウンドゴルフ、軽スポーツの集い、デジカメツアー、忘年会と行事も沢山あります。デジカメツアー(秋)等は皆様の要望、意見を聞き、取り組んで行きたいと思っています。阿波踊りではありませんが「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにゃそんそん」何事にも側から見るだけでなく積極的に参加して、会員相互の親睦を図って頂きたいと思っています。

一歩一歩前進し、そして楽しく、今年一年を頑張りましょう。



活動部の皆さん

電子紙芝居部は毎月第一水曜日の午後電子紙芝居作成の勉強会を開いています。

普通の紙芝居は絵を一枚ずつ手で動かしますが最近絵の中で花が咲いたり鳥や犬を糸で引っ張ったりと工夫しています。

パソコンで作成する画面はアニメの手法で動き、自然界の音、瞬時の変化、ペイント、インクスケープで画像を切ったり、貼り付けたりして完成させます。

テレビは3k・4kと進化していますがパソコンでの夢のような画像とはどんなものでしょうか? 写されたスクリーンの中からポーターが飛び出て来るような技法も、直ぐに完成されそうです。

また、機材一式も超小型化して小さなバックに収まり部員誰でも持ち運びが手軽にでき、ロボットカーで会場に行くそんな時代がそこまで来ている気がします。



**紙芝居の進化**  
電子紙芝居部長 佐藤 敦

**総務部長をお受けして**  
総務部長 入江 洋子



平成二十九年度シニアネットはまだの定例総会が一月三十一日開催され会員の皆さまには多数ご出席いただきありがとうございました。

顧みれば平成十八年、当時パソコンに興味があり入会しました。しかしキーボードの打ち方もわからず3回くらい講座を受けた時に、今後続けられるだろうかと大変不安でした。けれど講師並びに諸先輩のご指導を受けながら月日の経つのは早いもので十三年目を迎えることが出来ました。

今年総務部長という大役をお受けする事になりました。右も左もわからないことばかりですが、役員・総務部の皆さん方のご助言を頂きながら努力してまいります。

シニアネットはまだに入会して良かったと喜んでいただき、高齢になっても情報化社会に取り残されず勉強ができる会となりますように私も微力ながら努力してまいります。



総務部の皆さん

会員の皆さまのご協力をよろしくお願いたします。最後に今後のシニアネットはまだの発展と皆さまの健康を願うご挨拶といたします。

**みんなでチャレンジ**  
開発部長 三上 聖子



開発部の役割は、「人材育成」と「テキスト開発」です。当会は、「講師も自分

たちの中から」という互助グループです。パソコンのイロハが解りかけた時から「あなたもICTリーダー」との掛け声で、先輩の教えをよがて

次の方に還元する「学ぶ・教えあう」というボランティアの心で、十七年間講座を継続してきました。ITはどんどん発達し、今やA-の時代に入り、パソコン操作においても絶え間なく新たな機能が生まれています。

講座には新講師・サポーターが必要ですが、お声をかけると「私なんかまだまだ」と奥ゆかしい反応、でも、新サポーターさんから「サポーターは勉強になりますね」と嬉しい言葉が返ります。

パソコンを何かに役立てようと前向きな皆さん、新しい課題にチャレンジし「あなたもICTリーダー」を実践してみませんか。

最初はサポーター、次に講師を、そしてテキスト作成です。少しずつ挑戦していただければ、サポーター・講師としての自信が生まれ、受講しているだけでは解らない充実した学びが待っています。

そのお手伝いとして開発部は「講師・サポーター研修」、「委員研修」、「スマートフォン研修」などを計画しています。御一緒に勉強していきましょう。よろしくお願いたします。



開発部の皆さん

**パソコンに詳しくなりたい!**  
講座部長 梅村 洋



- どうしたらパソコンに詳しくなれるの? すばり、「習うより慣れる」だと思います。
- ① まず毎日いろいろなじじってみる(使ってみる)。
  - ② わからないところは、本などで調べたり、知っていそうな人に聞く。
  - ③ またやってみる。このサイクルの繰り返しですが、「パソコンに詳しい人」を育ててくれるように思います。